

社長メッセージ



日本ケミファは今年 55 周年を迎えました。

いまや日本は世界一の長寿国となったものの高齢化の進展により、国民皆保険制度を揺るがす国民医療費の増大と、成熟社会特有の生活習慣病が世代を超えて広がりつつあるという大きな問題をかかえております。

そのような状況において、高尿酸血症の早期治療とジェネリック医薬品の普及によって多くの人々の健康増進に貢献できると信じております。

高尿酸血症治療の必要性

高尿酸血症が生活習慣病の一つとして位置づけられようとしているのは日本では最近のことです。「高尿酸血症治療」の必要性、尿路管理の重要性を広く普及していくことが私達の務めと考えております。そのことによって高血圧や糖尿病等の生活習慣病の併発防止や早期治療を図り、早期回復、医療費負担の軽減にお役に立ちたいと考えております。

自社創薬候補物質の導出



「NC-2300」導出契約締結
契約締結後の山口社長とベルキュラ社
CEOのマイケル・ロング博士。



「PPAR δ アゴニスト」導出ミーティン
グ。セレニス社のディレクター（左か
ら）ジーン・ルイス・ダッソー博士、
カルメン・ダニエラ・オニシュ博士、
ウィリアム・ブリンカーホフ氏

ジェネリック医薬品

日本ケミファでは「安価」で「品質・安全性・有効性」に優れた医薬品に、医療関係者や患者さんが求める様々な「情報」を加えて提供しております。

病院でのジェネリック医薬品の普及によって医療費の削減、病院経営の効率化に貢献できると考えております。

私たちはビジネスを通じて社会に変化をもたらしたいと思っております。患者さんの医療費負担の軽減に役立つと共に、安定した利益を創出し、企業価値を高めることを経営の重要課題として取り組んでおります。

今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

山口 一城
代表取締役社長&CEO